

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和 5 年 6 月 20 日 報告者：松浦 秀哲

行事種別	研究会	行事番号	230000713	
開催日	令和 5 年 6 月 10 日 (土)			
時間	開始	15 時 00 分	終了	17 時 30 分
場所	アーバンネット名古屋ビル 20F リップルスクエア			
テーマ	苦手を克服！基礎から学ぶ輸血業務			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	藤田医科大学 松浦 秀哲			
講師	1. 血液型検査編 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 熊谷 優 2. 不規則抗体検査・交差適合試験編 小牧市民病院 水野 友靖 3. 製剤管理編 豊川市民病院 沖松 秀美			
内容	<p>今回の研究会は「苦手を克服！基礎から学ぶ輸血業務」と題して3つの講演が行われた。血液型検査編では、血液型の基礎知識として血液型の歴史や疫学的な視点での解説が行われた。血液型検査技術として血液型検査の手順および予期せぬ反応が発生した際の対応について詳細の解説があった。最後に症例問題が提示され参加者が自分で考えられるよう配慮されていた。</p> <p>不規則抗体・交差適合試験編では、検査の原理に関する基礎的情報の解説があった。さらに最新の赤血球型検査ガイドラインに則った不規則抗体特異性同定について丁寧に説明がなされた。検査のみならず、臨床医への報告方法についても例示され、これから検査結果説明業務をはじめようと思っている施設の技師にとっても有益な時間であった。</p> <p>製剤管理編では、各種血液製剤が献血からどのように作られるのか？という基本から説明があった。製剤を扱う者にとって、製剤の安全対策や適正な管理方法を知ることは必要不可欠なことであり、多くの受講生にとって意義深いものであった。</p> <p>以上のように、輸血業務の基本から臨床的な内容まで広く扱う有益な研究会であった。</p>			
参加者	総数：39名（会員38名、県外会員0名、非会員0名、賛助会員1名、学生0名、その他0名）申込数40名			
共催、後援など	なし			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和 5 年 7 月 3 日 報告者：松浦 秀哲

行事種別	研究会	行事番号	230000713
開催日	令和 5 年 6 月 19 日 (月) ~ 令和 5 年 6 月 26 日 (月)		
時間	開始	—	終了
場所	Web 配信 (オンデマンド配信)		
テーマ	苦手を克服！基礎から学ぶ輸血業務		
生涯教育履修点数	専門教科 20 点		
司会	藤田医科大学 松浦 秀哲		
講師	1. 血液型検査編 日本赤十字社愛知医療センター名古屋第二病院 熊谷 優 2. 不規則抗体検査・交差適合試験編 小牧市民病院 水野 友靖 3. 製剤管理編 豊川市民病院 沖松 秀美		
内容	<p>今回の研究会は「苦手を克服！基礎から学ぶ輸血業務」と題して3つの講演が行われた。血液型検査編では、血液型の基礎知識として血液型の歴史や疫学的な視点での解説が行われた。血液型検査技術として血液型検査の手順および予期せぬ反応が発生した際の対応について詳細の解説があった。最後に症例問題が提示され参加者が自分で考えられるよう配慮されていた。</p> <p>不規則抗体・交差適合試験編では、検査の原理に関する基礎的情報の解説があった。さらに最新の赤血球型検査ガイドラインに則った不規則抗体特異性同定について丁寧に説明がなされた。検査のみならず、臨床医への報告方法についても例示され、これから検査結果説明業務をはじめようと思っている施設の技師にとっても有益な時間であった。</p> <p>製剤管理編では、各種血液製剤が献血からどのように作られるのか？という基本から説明があった。製剤を扱う者にとって、製剤の安全対策や適正な管理方法を知ることは必要不可欠なことであり、多くの受講生にとって意義深いものであった。</p> <p>以上のように、輸血業務の基本から臨床的な内容まで広く扱う有益な研究会であった。</p>		
参加者	総数：204名（会員129名、県外会員75名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他0名）申込数306名		
共催、後援など	なし		

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和5年7月23日 報告者：松浦 秀哲

行事種別	基礎講座	行事番号	230000735	
開催日	令和5年7月23日（日）			
時間	開始	10時00分	終了	17時30分
場所	藤田医科大学10号館（豊明市）			
テーマ	あなたの「困った！どうすればいいんだろう…」を解決します！			
生涯教育履修点数	専門教科 20点			
司会	日本赤十字社 東海北陸ブロック血液センター 加藤 静帆 技師			
講師	愛知県臨床検査技師会輸血検査研究班 班員 愛知医科大学病院 高 四強 技師 名古屋市立大学病院 小池 史泰 技師			
内容	<p>コロナ禍を経て4年ぶりに対面での基礎講座を開催した。これまでの初級、応用の区別を無くし、1つのコースとし2症例を準備した。</p> <p>1つ目の症例は妊婦症例を対照としたRhDの亜型とした。D陰性確認試験を正しく実施し、結果を適切に解釈することができるよう解説を行った。さらに不規則抗体の同定手順についても解説を行った。2022年12月にガイドラインの改訂があり、それに準じた解説を行うことによって県内の医療機関で標準的な方法が実践できるよう配慮した。</p> <p>2つ目の症例は新生児とした。症例1の妊婦が出産した想定で母児間不適合妊娠などについて考察してもらうことを目的とした。いずれの症例も検査を実施するだけでなく、その結果をどのように臨床医や患者に伝えるかという部分まで踏み込んで研修してもらうことができた。</p> <p>対面での基礎講座は、検査の細かいテクニックを伝えるのに最適な環境であることを再認識できた。また、受講生からも普段の検査で感じている疑問などが聞かれ相互でコミュニケーションを取ることが出来る研修会の意義を改めて感じた。</p>			
参加者	総数：47名（会員47名、県外会員0名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他0名、）・申込総数：48名			
共催、後援など				

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和 5 年 9 月 21 日 報告者：松浦 秀哲

行事種別	研究会	行事番号	230009116	
開催日	令和 5 年 9 月 9 日 (土)			
時間	開始	15 時 00 分	終了	17 時 50 分
場所	アーバンネット名古屋ビル 20F リップルスクエア			
テーマ	症例について皆で考えよう！			
生涯教育履修点数	専門教科 20 点			
司会	愛知医科大学病院 片井明子			
講師	<ol style="list-style-type: none"> 1. 血小板輸血不応について皆で考えよう！ 愛知がんセンター 早川 英樹 2. 緊急輸血について皆で考えよう！ JA 愛知厚生連 安城更生病院 山本 喜之 3. 患者説明について皆で考えよう！ 社会医療法人宏潤会 大同病院 稲生 千絵美 			
内容	<p>今回は「症例について皆で考えよう！」をテーマに研究会を開催した。</p> <p>1つ目の演題「血小板輸血不応について皆で考えよう！」では血小板輸血を実施しているにも関わらず血小板数が上昇しないという実臨床でも遭遇する困った症例について原因の探索、対応および医師への報告についても言及した。参加者の中に血液センターの学術担当者がおり、HLA-PC の適応や緊急時の対応など非常に有益な意見交換がなされた。2つ目の「緊急輸血について皆で考えよう！」では、緊急輸血の対応について講師の自施設の例を提示し説明を受けた後、シミュレーションとして皆で最適な緊急輸血対応とは？について検討することができた。3つ目の「患者説明について皆で考えよう！」では、輸血関連情報カードを始めとして患者への説明の実施方法について意見交換がなされた。タスクシフト/シェアにおいても臨床検査技師による患者説明、特に輸血領域では同意書の取得まで求められている現状がある。実情では患者説明を行っている施設は限定的であり、実施できない理由として人員の確保に課題があることもわかった。</p> <p>休憩時間には日常の輸血に関する疑問を相談できる質問コーナーを設置し、対面開催の利点を感じられる研究会であった。</p>			
参加者	総数：58 名（会員 58 名、県外会員 0 名、非会員 0 名、賛助会員 0 名、学生 0 名、その他 0 名）申込数 50 名			
共催、後援など	なし			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和5年12月9日 報告者：松浦 秀哲

行事種別	講演会	行事番号	230016653	
開催日	令和5年12月9日（土）			
時間	開始	15時00分	終了	18時15分
場所	ウインクあいち 1308会議室			
テーマ	輸血検査研究班講演会～輸血チーム医療のこれからを考える～			
生涯教育履修点数	専門教科 20点			
司会	愛知医科大学病院 片井 明子 技師、藤田医科大学 松浦 秀哲			
講師	<p>【一般講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 血漿分画製剤の概要と供給状況について 日本血液製剤機構 三橋和紀 2. 看護師による輸血チーム医療への参画 藤田医科大学病院 鈴木優真 3. 臨床検査技師による輸血チーム医療への参画～三重大学医学部附属病院 Ver～ 三重大学医学部附属病院 田中由美 <p>【特別講演】</p> <p>チーム医療で推進する安全で適正な輸血医療 大阪医科薬科大学病院 河野武弘</p>			
内容	<p>2023年度の講演会は「輸血チーム医療のこれからを考える」と題して開催した。輸血医療には多くの職種が関わり成立している。今回は製薬メーカー、看護師、臨床検査技師、医師の4名の演者からご講演頂いた。製薬メーカーからは血漿分画製剤の基礎的な情報提供および昨今の供給体制について説明があった。看護師からは輸血業務に特化した働き方を開始した認定輸血看護師による輸血関連業務の運用やここまでの苦労および工夫について講演していただいた。臨床検査技師からは病棟監査やCAR-T療法への関わりについてご講演いただいた。そして、特別講演では大阪医科薬科大学病院の河野先生から「チーム医療で推進する安全で適正な輸血医療」のタイトルでご講演いただいた。国際会議での日本の輸血医療がどのように受け止められているかをご紹介頂いた。また、タスクシフト/シェアのあり方にも問題提起を頂いた。我々が進めるべき、タスクシフトの形は「安全を担保し、それぞれの専門性を活かした多職種協働」であるという点は、聴講者の多くの共感を得ていた。</p>			
参加者	総数：40名（会員38名、県外会員0名、非会員0名、賛助会員2名、学生0名、その他0名）・申込総数：32名			
共催、後援など	一般社団法人 日本血液製剤機構（共催）			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和5年12月9日 報告者：松浦 秀哲

行事種別	講演会	行事番号	230016664	
開催日	令和5年12月9日（土）			
時間	開始	15時00分	終了	18時15分
場所	ライブ配信			
テーマ	輸血検査研究班講演会～輸血チーム医療のこれからを考える～			
生涯教育履修点数	専門教科 20点			
司会	愛知医科大学病院 片井 明子 技師、藤田医科大学 松浦 秀哲			
講師	<p>【一般講演】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 血漿分画製剤の概要と供給状況について 日本血液製剤機構 三橋和紀 2. 看護師による輸血チーム医療への参画 藤田医科大学病院 鈴木優真 3. 臨床検査技師による輸血チーム医療への参画～三重大学医学部附属病院 Ver～ 三重大学医学部附属病院 田中由美 <p>【特別講演】</p> <p>チーム医療で推進する安全で適正な輸血医療 大阪医科薬科大学病院 河野武弘</p>			
内容	<p>2023年度の講演会は「輸血チーム医療のこれからを考える」と題して開催した。輸血医療には多くの職種が関わり成立している。今回は製薬メーカー、看護師、臨床検査技師、医師の4名の演者からご講演頂いた。製薬メーカーからは血漿分画製剤の基礎的な情報提供および昨今の供給体制について説明があった。看護師からは輸血業務に特化した働き方を開始した認定輸血看護師による輸血関連業務の運用やここまでの苦労および工夫について講演していただいた。臨床検査技師からは病棟監査やCAR-T療法への関わりについてご講演いただいた。そして、特別講演では大阪医科薬科大学病院の河野先生から「チーム医療で推進する安全で適正な輸血医療」のタイトルでご講演いただいた。国際会議での日本の輸血医療がどのように受け止められているかをご紹介頂いた。また、タスクシフト/シェアのあり方にも問題提起を頂いた。我々が進めるべき、タスクシフトの形は「安全を担保し、それぞれの専門性を活かした多職種協働」であるという点は、聴講者の多くの共感を得ていた。</p>			
参加者	総数：80名（会員43名、県外会員37名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他0名）・申込総数：132名			
共催、後援など	一般社団法人 日本血液製剤機構（共催）			

愛臨技学部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和6年2月15日 報告者：松浦 秀哲

行事種別	研究会	行事番号	230021705	
開催日	令和6年2月10日（土）			
時間	開始	15時00分	終了	17時30分
場所	アーバンネット名古屋ビル 20F リップルスクエア			
テーマ	令和5年度精度管理報告会～安全な輸血のために～			
生涯教育履修点数	基礎教科 20点			
司会	愛知医科大学病院 林 恵美			
講師	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度精度管理報告 愛知県がんセンター 早川英樹 2. 輸血機能評価認定制度（I&A）について 名古屋市立大学病院 南里隆憲 3. 精度管理&輸血検査の基礎知識 株式会社カイノス 中島康裕 			
内容	<p>令和5年度精度管理報告会として研究会を開催した。</p> <p>講演1では、愛知県がんセンター早川技師が愛知県臨床検査技師会精度管理事業、輸血検査部門のサーベイの結果を報告した。今年度の精度管理調査の結果、概ね良好な結果が得られており、県内の輸血検査の標準化が順調に進んでいると感じさせた。一部の施設で改善の余地があることが示されたが、それ自体が問題ではなく改善に向けた取り組みによって一層精度の高い検査が実施できるようになることが重要である。</p> <p>講演2は、輸血機能評価認定制度であるI&Aについて名古屋市立大学病院の南里技師からご講演があった。I&Aの変遷と更新審査の実際をお話いただき、今後施設認定を考えている施設にとっては非常に参考になる講演であった。また、I&Aは輸血業務の基本事項をしっかりと実施できているかを認定するものであり、認定を考えていない施設の技師にとっても有益な情報が多かった。</p> <p>講演3は株式会社イムコアの学術である中島様に精度管理&輸血検査の基礎知識と題してご講演いただいた。輸血検査の精度管理をどのように担保すれば良いのか？という疑問点にクリアにご解説頂いた。検査の準備工程から試薬管理、結果報告にわたって精度管理の注意点を丁寧にご説明いただいたことは多くの方にとって有益な情報であったと確信している。本研究会は3つの講演を通して、輸血医療、輸血検査の精度管理について学習する良い機会になった。</p>			
参加者	総数：32名（会員28名、県外会員0名、非会員0名、賛助会員4名、学生0名、その他0名）・申込総数：18名			
共催、後援など	なし			

愛臨技学術部研究班活動報告書

所属：輸血検査研究班 提出日：令和6年3月4日 報告者：松浦 秀哲

行事種別	研究会	行事番号	230021716	
開催日	令和6年2月19日（月）～ 令和6年2月25日（日）			
時間	開始	—	終了	—
場所	Web 配信（オンデマンド配信）			
テーマ	令和5年度精度管理報告会～安全な輸血のために～			
生涯教育履修点数	基礎教科 20 点			
司会	愛知医科大学病院 林 恵美			
講師	<ol style="list-style-type: none"> 1. 令和5年度精度管理報告 愛知県がんセンター 早川英樹 2. 輸血機能評価認定制度（I&A）について 名古屋市立大学病院 南里隆憲 3. 精度管理&輸血検査の基礎知識 株式会社カイノス 中島康裕 			
内容	<p>令和5年度精度管理報告会として研究会を開催した。</p> <p>講演1では、愛知県がんセンター早川技師が愛知県臨床検査技師会精度管理事業、輸血検査部門のサーベイの結果を報告した。今年度の精度管理調査の結果、概ね良好な結果が得られており、県内の輸血検査の標準化が順調に進んでいると感じさせた。一部の施設で改善の余地があることが示されたが、それ自体が問題ではなく改善に向けた取り組みによって一層精度の高い検査が実施できるようになることが重要である。講演2は、輸血機能評価認定制度であるI&Aについて名古屋市立大学病院の南里技師からご講演があった。I&Aの変遷と更新審査の実際をお話いただき、今後施設認定を考えている施設にとっては非常に参考になる講演であった。また、I&Aは輸血業務の基本事項をしっかりと実施できているかを認定するものであり、認定を考えていない施設の技師にとっても有益な情報が多かった。講演3は株式会社イムコアの学術である中島様に精度管理&輸血検査の基礎知識と題してご講演いただいた。輸血検査の精度管理をどのように担保すれば良いのか？という疑問点にクリアにご解説頂いた。検査の準備工程から試薬管理、結果報告にわたって精度管理の注意点を丁寧にご説明いただいたことは多くの方にとって有益な情報であったと確信している。本研究会は3つの講演を通して、輸血医療、輸血検査の精度管理について学習する良い機会になった。</p>			
参加者	総数：88名（会員56名、県外会員32名、非会員0名、賛助会員0名、学生0名、その他0名）・申込総数：130名			
共催、後援など	なし			